

多様なメンバーと共に、未来へ向けて継続的に成長し、成果を生み出し続けるチームをつくるために、R&D部門のリーダーに求められる実践的なチームマネジメントのフレームワークとノウハウを解説します。

R&D現場における チームマネジメント実践ノウハウ

～チームリーダーへの期待と役割、R&Dの特性を踏まえたマネジメントのポイント、演習あり～

講師：(株)ケミストリーキューブ 代表取締役 イノベーションコンサルタント 平木 肇 氏

1992年、筑波大学を卒業、シャープ(株)入社。エンジニアとして先端電子デバイスの研究開発・製品開発・生産技術開発に取り組む。通産省(当時)主幹の次世代研究プロジェクトに参画。99年(株)日本能率協会コンサルティング入社。14年間にわたり、技術経営(MOT)、イノベーションマネジメント、研究開発(R&D)マネジメントを主領域としたコンサルティングに従事。2014年(株)ケミストリーキューブ設立。『技術人材の知恵を、価値を創り出す力に変える』をコンセプトとして、ものづくり企業・技術系企業の技術力・価値創造力の強化と人材の開発を支援している。

- 日 時 2018年9月19日(水) 10:30~16:30(講義:約5時間)
- 会 場 テックデザイン会議室(東京 門前仲町駅) or リファレンス西新宿(東京 新宿駅)等
- 受講料 1名 29,980円(税込/テキスト付) ※詳細はHP・受講票をご確認ください

～講義概要～

R&D(研究・技術開発・製品開発・生産技術開発)の生産性は、現場のチームを任されたリーダーの力量が大きな鍵を握ります。さらに、イノベーションの時代において、新たな価値と技術の創造を担う中核機能としてR&Dへの期待が高まる中、現場のチームリーダーのマネジメント力をいかに高めるかは、各社の重要な課題となっています。チームマネジメントは、「計画作成」「進捗管理」「上司への報告」「関係者との交渉」「部下との面談」などといった管理作業を行うことではありません。R&D現場の「経営者」として、未来へ向けて継続的に成長し、成果を生み出すチームをつくるために、メンバーと協働して取り組む組織活動です。

本講習会では、ものづくり企業のR&D現場を担うリーダーが身に着けるべきマネジメント能力をテーマとして、ケミストリーキューブが様々な企業のR&D現場を支援する中で開発した実践的なチームマネジメントのフレームワークとノウハウを解説します。

1. 変化するR&Dの役割とチームリーダーへの期待

- ①ものづくり企業が直面する変化
- ②イノベーションの時代
- ③R&Dのミッションの変化
- ④R&D現場の悩み
- ⑤チームリーダーへの期待

2. チームマネジメントのコンセプト

- ①チームリーダーは現場の「経営者」
- ②マネジメント作業をこなせてもチームリーダーにはなれない
- ③マネジメントの機能
- ④チームマネジメントにおける2つの領域
～「未来を創る」と「現在を変え続ける」～

3. R&Dチームの成長戦略

- ①チームの成長戦略の考え方
 - ・成長とは規模の拡大ではなく、能率の向上
 - ・基本思想は『2軸志向』
 - ・チーム成長戦略の3つのコンセプト
～チームビジョン、チーム学習、マイプラン～
- ②チームビジョン
 - ・チームビジョンとは何か
 - ・壮大なビジョンは必要ない
 - ・どのようなチームをつくりたいのかを、自らに問いかけよ
 - ・思いを客観的に練り上げる
 - ・ビジョンをコミュニケーションする
 - ・チームビジョンの実践プロセスとツール

【演習】チームビジョンの実践ツールを用いたミニ演習

- ③チーム学習
 - ・職場における3つの学習
 - ・学習が機能不全に陥る4つの仮説
 - ・学習を促進するアプローチ
 - ・チーム学習の実践プロセスとツール
- ④マイプラン
 - ・リーダーの最も重要な仕事は人材育成
 - ・R&D現場における人材育成の課題

- ・チーム学習と個人の成長を同期させる
- ・メンバーとの面談を「2軸」で行う
- ・マイプランの実践プロセスとツール
- ⑤事例紹介

4. チームの運営と改善

- ①チームの運営と改善の考え方
 - ・現場の目線で現実を直視し、多面的な視点で判断する
 - ・チームの運営と改善 3つのコンセプト
～見える化、振り返り、ムダどり～
- ②見える化
 - ・見える化は目的ではない
 - ・人の意思決定プロセスと2つのモデル
 - ・意思決定に必要な情報を見える化する
 - ・R&Dの仕事はそもそも見えにくい
 - ・意思決定のための3つの見える化
- ③振り返り
 - ・PDCAのPの偏重
 - ・R&Dの仕事はやってみなければわからない
 - ・振り返りの2つのアプローチ
～分析アプローチと創発アプローチ～
 - ・創発アプローチの実践プロセス
 - ・創発アプローチをR&Dプロセスの中に組み込む

【演習】振り返りの実践ツールを用いたミニ演習

5. フリーディスカッション(Q&A)

<習得知識>

1. R&D現場を担うチームリーダーへの期待と役割
2. 一般論ではない実践的なチームマネジメントの考え方
3. R&Dの仕事の特性を踏まえたマネジメントのポイント
4. チームマネジメントの実践プロセスとフレームワーク

＜お申込み要項＞



申込用紙 講習会申込:『 2018/9/19 R&D現場における チームマネジメント実践ノウハウ 』

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX:03-6261-7924

会社名※			
所在地※ <small>（受講票等の送付先）</small>	〒		
参加者 1			
氏名※		TEL※	
所属※		FAX	
Email	<small>リマインドメールなどお送りしますので、なるべくご記入ください</small>		
参加者 2			
氏名※		TEL※	
所属※		FAX	
Email	<small>リマインドメールなどお送りしますので、なるべくご記入ください</small>		
備考			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX 03-6261-7924	本用紙の申込欄に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail entry@tech-d.jp	【社名】、【所属部署名】、【受講者氏名】、【所在地】、【電話番号】、【FAX 番号】、【E-mail アドレス】をご記入の上、送信ください
C	HP http://www.tech-d.jp/	【申込フォーム】をクリックし、必要事項をご記入ください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）を致します

③ 受講票・請求書をお送り致します

＜注意＞

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルは、お受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願い致します

お支払について

＜期日＞

① 受講料は、講習会開催日の**翌月末日**までにお支払いください

※ 経理の都合上、期日までに間に合わない場合は、対応致しますのでご一報ください

＜方法＞

① 銀行振込にて、下記の口座へお振込みください。なお、振込手数料は御社にてご負担願います

※ 講習会当日に現金でのお支払も承りますが、領収書等の準備がありますので、事前のご連絡をお願い致します

振込先銀行	支店	口座番号	名義
三井住友銀行	多摩センター支店(909)	(普) 0973522	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ	名称	株式会社テックデザイン(http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		